

入場無料
予約不要

2019年10月5日 (土)

BIO MIMETICS

バイオミメティクス市民セミナー・対話篇

第94回 アントロポセン（人新世）とバイオミメティクス その1：地質時代



人新世という言葉をご存知でしょうか。
人類が地球に影響を与えた時代のことをこのように
呼び始めています。

では、人新世はいつ始まったのでしょうか。
それを決めるのは人類が影響を与えたモノを何に
するか次第です。大気中の二酸化炭素濃度を切り口に
した場合、現在の値は高いのでしょうか？
それとも低いのでしょうか？



そもそも人類は地球に影響を与えたと言
えるのでしょうか？

環境という言葉はとてもあいまいで
人によって様々なとらえ方があるようです。
一度、地質時代を俯瞰して環境の正体を
一緒に考えてみませんか。



ある地質学者から見た人新世

～環境の時空間スケールとは～

山本 順司

北海道大学総合博物館 准教授

主催：北海道大学総合博物館
共催：高分子学会北海道支部
北海道大学 電子科学研究所
特定非営利活動法人バイオミメティクス推進協議会
高分子学会バイオミメティクス研究会
公立千歳科学技術大学地域連携センター

北海道大学総合博物館
060-0810 札幌市北区北10条西8丁目
問合せ先：TEL.011-706-2658 FAX.011-706-4029
E-mail: museum-jimu@museum.hokudai.ac.jp

会場：北海道大学総合博物館 3階 北講義室(N308)
札幌市北区北10条西8丁目

時間：午後1時30分から午後3時30分